馬琴作 全四冊

# 女郎花五色石臺第四集

壱の巻 拾丁ま

板元記人

和泉屋市兵衛

豊國画

600
40

女郎花五色石台第四集附言

褒貶毀誉は人の好憎より出づ。或人予の冊子を閲して、且弾し且嘲て道く。女子は柔和にして軟弱に、織績裁衣を務め、手書し日内を治るを良とす。偏女子にして其勇力敢義秀て親衛に勝るものあらんや。そは人倫の異常而已。世の婦幼是を見て、羨むこゝろあるときは、倣ことを事毎に暴々しく、良人を尻に布もあらんか。その故に甚害あり。自他の女の子等、眼を閲て見を少もせであるべしといひしを、又人ありてその嘲を解て云、夫泰平の世には惰夫ヨヲく、戦国には勇婦あり。昔日鳥山姫周の時呉の孫武子は呉宮に女兵を操りても非常に備ぬ。況這冊子なる五勇婦は、烈女韓糸の後身にて。

遺怨を忠孝に果せる婦幼等是を見て、学ばまくほりするとも、企及ぶべくもあらず。惰夫は是に由て羞て生活を勉む。婦は是に由て恥て淫なる娯楽を做さず。彼人情と鞍唱る媱娃の書と同うして、何の害か是あらん。凡て看官の用心かくの如くならば、鬻を読ても、戯くして水道の名。濁らば戯墨の筆を浣ふべし。澄らば面に唾被て、無明の酔を醒ましつ。去て亦共に言ふに足。作者が二論を、吾一臆を抱えて批して道く。難波の浦のよしあしは、ひとつにして是を悟りぬるもの。是非は看官の朽拙にあらん。児戯の冊子を論ずれば、不狂人も走るに似たり。初春の笑草に詞の花を開せぬる、吾は可もなく不可もなく、みづからぬ処。鳴呼自出さゞる哉、愛たいかな。

嘉永元年夏五月稿本正成
嘉永二年己酉正月吉日出

曲亭馬琴識 □□

赤松播磨守則村
斫炭の樹
殿いぬ吹草のか
三石左衛門将勝
狸の皮

隠れかて
光りとうらむ
蛍か南
同
鯉目織羽
千束律平

獅子口虎九郎
虎とよぶ河豚に正夫の勇を加へ
暴海鯨六

苧結や女の使ふことなき小眉刀
則村
室内
須磨前
湯上閑東次

妳母田埒
鍋焼か亀ハ免れて御世の春
馬勇
持氏季児千壽王

新管領清方
とりかへるも宵の
なりや後の月
琴鶴
箕浦道西紀
香ろ
歌袋


四

三太郎のつゞき
さるほどに次に右
ひらふた
ひとことあり
ありしが
そんなかさねその
これまでちゝにつるよ
るゝ事もなく ほどよ
きところにて[illegible]もあれが
かこみのさかづけ
あつくおのがにあてゝを
えんりよてさいそふ
おんえいいろゝ心ぞ
かさねの小座もおのれの
城廓せうむしろ屏
風よ ひよつと[illegible]もふとん
あるまじ[illegible]祖[illegible]とる
ものと[illegible]ごめふせ
らずうつみか
なしといひ
せもえそちよう
ちんの[illegible]に[illegible]
ふるの[illegible]ひとこれ見

獅子口給気[illegible]宮[illegible]
鏡六張[illegible]みまりてあやかりさいし
めて大とん[illegible]
ふて一二をあらそふこれらがかさね
んかくそどのあらみの刀をとゞめ
さんとてあよひみからかんぞ
ありしを[illegible]さるすご[illegible]
ざる[illegible]とのいる所どふへい次
なけれど[illegible]さけちう[illegible]
来てちやうちん[illegible]させきつと
ぞんぜ
ます
きつらさま
しのびとひ
かくあるをと
こつけ[illegible]
手[illegible]あくちまう
とものあげござま
いせん[illegible]下へ

これらの[illegible]文字見え[illegible]

五

上り
よういやそとこにもあれ
さんうにもせよせにも
人にもきてられてのぶ
せりとこずでなりもぞ
を守るつきとか[illegible]
うるべしこそござさ
しさの刀は三でふ
後 [illegible]治[illegible]のさく
あれとも[illegible]
いずさうなら
ねがたやしうんと
て来つる[illegible]死
[illegible]ふそうとる
なんぢら[illegible]命 この
名刀説のさびと
ならば死にぞ見
あつといかれんので

といふをかさねからち
[illegible]てい[illegible]
[illegible]しんてさてハそん[illegible]
世に[illegible]たけつらぬ
しまて[illegible]
ごろひさう[illegible]後 [illegible]
治のさくの刀あり[illegible]
日ころあつらを[illegible]
その人を[illegible]
しんぞとおりへども[illegible]
このとしとしどころの[illegible]
そとげあん天のよ[illegible]
あれ見そなる[illegible]
もむしろにつみし下[illegible]
刀をしまぬくとおほさして
きらつと[illegible]つらの
[illegible]ちうくさしはせたり
あるとわどろくともちよ六
とられたびさ[illegible]
のよき人あられてよ[illegible]
うちみそとり[illegible]中の[illegible]
つられ[illegible]
さまになちろ[illegible]
とぶめ[illegible]てんつゞく

図上より
〇下へ
〇中より
図中へ
置
荒
六

おそろかも くさぎさろ とみえて あれやそ わとぞうり かさうする かそれの ともんを たゆちん どろぼうの きうら金 てとぶ がまく かあつ くけ糸り きまつ なけつら いぐとへ めくろく せくと よづり てちかまる

左の上よ 此とうさがすのあやうれをつきとるくまかそり日一おんのだせとれ 又のちかる名のりあふ日のあゆねへ一と忘あんと思ゐ〜やいぞを〜さめてなけ つらがるうさんまゐる加の忘らをや 日 父陸眼治のさくと〜ちけが忘んどお 忘の加くれのをそとひれちぢりて らびをつみのかれいぶれてかるをぐさへをせ りけり

○さる程か岩まみ程くつあみの大よひいそかけつりのあり有ぬ次ちの非忘えひ 〜あゆるやむひの本まよい外れかハ七七人おのをくちかれころろみと十人あなりり忘ろろて さハちゆうちえかみおとてをうさせけんちらち七のぷとろ有るつみとさ〜ていそぐ 程かうちのからされさるなけつらのと日人ま貫二三人かげて来の有る程れ あるをかのあさうちのをとのあさうま 一加ぐうくとつげ〜加が和りく〜わとお れむれをつやて さちいそ けといふ

同きちうちの ののさの ハをれ のまれ ふそらり まの忘る かいあれ かまさ る有の ふーそ 忘みも ふさち めそん なの

同さ忘の へやる まる
今下か よりいえ 忘んーとてまわる らさんかんさろうさの 忘げんかありて あよでたくみて まちよさえ入るか のがれ投天のせめ やらぞをらけをとのゝ有さ和比前か役をも さ加らでも石ざいよむくちとの雷力恒あり とても〜たけの忘れさる をんを一人ころは
ありおく とう所けちく てか目かぞる
雷ぬあり ひかひとの 志ぬせまし あらをむ 忘りかて 〜ろ不〜て日 とよちぶまろ わていろぞうて 和それ忘から くとぶまれ 二役目ぬ二へ とても 忘んさて れハせど

ぢちふのさうれハなけつら今ハ 名むまをゆぎのあ〜〜やと かさるをぬつて丁々そそと たくかさるよつかのの言 れんりまとつくそおとち まさうのハ忘ほどの つら一ねんころさる 雷ぬのきうさう たけつらのひかさてえ くまてひるむをわてうと ふさこんよるおそくのものの うち忘もなすらむ所そらびすとうちお思と せが〜むそろからふや〜かうあれけりされれ おそのかと〜ちこの大まうちむるかちごて その男かとうてハ大てそれ有る日か〜へ次 えけつらを〜うちとよるようこどびかいふ べちもあらねどもてらのすのさめかたをけよち忘てる
雷ぬれそもくたれあるらんと思の名に ええなれハさうもヨヌくるなけつらの上百分 あこりそう〜がの一雷ぬか〜うれけん むちうちんの大かきえそそ〜人あのと〜 白ええされハまつのかちろとやまく忘のさる 恐てきかの雷ぬハまうの用日のりあるとのこいわれ〜 とろ経々ま〜人のなさけかよろこびをいたでこれまく てろれんハ我いるけれどもいかかせんかれをかくまて
君の下へ

こゑもろともにそのまゝのざぶざぶ十手よりおつこちる
やまてもふらぜたくかくさるゆるぎのかりてらせん
むらり来ておくれさまくやくそくたらへずすけよちぞと
名のりかけいなほまだのえーらめ行るびうらわうりて
かくれのまゝのいくどうらあぶくるにまうせてうちさあぜ
あくのハそれにたよるを引てまだ名あらせまぜ和
田ふんてうさんとさそふもしなおびに和田行
せなひかくねえあかてこまりもきてへどもいつもつて
かなふべてもあらざれがもとれを
らかひ和えやてふびるを
じとまゐるるをきうあれば和
田ばたはくてふ見合るあた人の
家のひさしにまで掛けてひらりと
屋ねによぢのぼれがまくさぞつゞく
おのゝまやごとともにその屋ねに
うちのぼりて又たつかうも十手あまり
和田行がかくさるを引られてのけぞり
さふらふところをさそえてらぶとかまへと
むかふとぶうとけおとしけりそれ
らぬおこたのにげども十人あまりのざふ
あとそての身にひよいにひ引らけてたつたよふ
うちひげがさもふとかゝるなすもとのある
さハ中よあのおれーかれみちのかへのかはら石を
のれおもへとりてなげれバちつかちとなう
ののいくさうとあらぞのところへ屋ね

らせてかされハひとりもあらさればみなかの屋ね
あのそりてあのとおくおきのらてふ来るく
やくたくよろへねさとげてちのよろこびさのべすく
きもちとおきのハこゝろにかーとふむてすくらつ
にあがろまへくらぞかけをかくーしてのちかとそ
といふにあのハちうちくうちのれさ
ちてあーえやにりつことなつく志のをれ
○さるほどに千ぞく村名孝子に三てふの
てとおハむりーのそんぶをてもとろー
ひまるれそんもてえるいるぞ
らてそのすがあると笑
ーよういつでかーとに
とうさあとてなかんせるる
とるぶにと千系にとあ
なさけにて又うちあつく
よきさのあまさへ出にん
にお目せられて世にかよい
を言やうされーかだよまん
アの平とおてろてかーまゝよ
とおほあおそりつなのわこきのた
ゆ附いもにでんおせられとるかの
刃てうの若ゑあのとそかことも大きれの
かちてといとちいきびにまりつりーとてでくる
になきづけるはそらの大三あかにつぶさな
けかそる人あるゑーされがそのひでく見れ

八

下へ
つゞく

むすめをつれて あかどう りりして [illegible] 周[illegible]にぞども又 目をかさねて やすひかんでく[illegible]けり [illegible]にいと[illegible]かさかにて[illegible]もちそ [illegible]とち[illegible]時 かこさらかて[illegible]すり

あき人の母の[illegible]とらせし かこのみんきよう[illegible] よりねけいど[illegible]とのみさてさすて ゆくと[illegible]ねんとして[illegible]ねむり その時[illegible] かこさいくのひと[illegible]かこ[illegible]つて[illegible] [illegible]とて[illegible]時[illegible]ちと [illegible]の[illegible] この[illegible]せて[illegible] [illegible]とあるべしといわれしと[illegible] [illegible]して[illegible]さる [illegible]とあの[illegible]て[illegible]られんなりて [illegible]ひとりごちて[illegible]さぬ[illegible] [illegible]毒刀[illegible]さやそん[illegible]年 をかよび[illegible]とことも [illegible]そのあん[illegible]ちのなとなるつ[illegible]

[illegible]そのさ[illegible]五十人を [illegible]あり[illegible] どう[illegible]三人[illegible] [illegible]とあてわさ[illegible] [illegible]〇そ[illegible]

[illegible]とすて[illegible]一夜[illegible] [illegible]ありされ[illegible] [illegible]いぞくの[illegible]ません

[illegible]の人々[illegible]とりて [illegible]かま [illegible]小児を [illegible]ありて [illegible]首 [illegible]あらた [illegible]さる [illegible]ところ [illegible]そろへる [illegible]又[illegible]夜[illegible]かと

[illegible]あかけるかと[illegible]そとら[illegible] [illegible]とつる[illegible] [illegible]ぬらに[illegible]あさ [illegible]ねらひ[illegible]

とく[illegible]あのは かーとよ[illegible] [illegible]けんあのひの[illegible] に人あてあ[illegible] 二[illegible]のあけれ[illegible] [illegible]のそをあれ[illegible]とらかく [illegible]ふねと[illegible] [illegible]と[illegible]のとち 夜川そ[illegible] ぬさ[illegible] [illegible]と[illegible] あ[illegible] な[illegible]のせ[illegible]て



つぎへ

ひそのふつまよしまわらせんとくく
ふ稲ふのりゐへといゝれておそなれ
よろこびふたゑぞ
そこてあさかまぬなかさけま
ととといらくてふ稲ふのりふる
わらら二月わおおふくとうさて
とり寄そらされて宇多かゝらげか
ぞんのある人名のどまうちてとえかくされが
たいの高く別人にてん五のどこれさいかえりの
又のあさ又かの如ふふふえ七ふまりふでも
わらされがかそくれさぞふら名ぞる
たゝのもとうそつるふまとあらぬある
かとところとうこ分せぞ分えもつれらぞ
てんふまれしとしこゝた稲し又の
まくすいらふありとわたらぞして
めなあいわ天のさまあかくぞ
とせよとの為やさうと客より
さ頭ふ分えもハ三まつと若
あらくくみれハげふふさきる
ろふふかふえある松そお
るれかかえれとぞえれてかへ
まをれのあらがたとぞとられ

上ノ
おそらかさかなぞか
しとくめて人くてそこゝと
なあたゝ子ひそもこれ
そのぬさそんふそうられて
あのうをふのりかとそのぬまそんいゝてより
うらとある
らそりのなれわ
引ところへんと
ちぬる所と
ふかやつわ
さしふはけ
の所ててぶるを
アらしどおもやく
のそといふおどき候ぞ
えるとてくふせう
こもおえそのいびて
けとたれのまをとそ
ふふべえあのないぞ
そうちたあせよく
ききそひのうれるいえ
わいそとふむで
もあらざれハ
きおそがかせ申候
ろめいの下とかひ
らびりくびらりさ候ふ
ちやみ～やさうのかどの

るありとふりきりてみぎれ二三ぜんへぢちたるきらん
ひらりと身をわきらせてあしふまろせてふけて
ゆくをおそゝいそのそのうしとみて
おりつくままゝにふれひねてやえ
のうてふいてしかゞぜうあくさそを
かひとりてふわてみおふさしト
よせてつえて きっふのぶる
ろどふ分せかくてふけのぞ
てゆくへかえらぞ
ありふけりかる
ところふあそりたる
ふさすとたいのこえけより
三ヶ人たちかいとりてぞりいで
おそろとゆふいふとりこめてぞみたる
もろとをいのめしくたいの祝ってしまれ
むりしようの二夜川をつてさぬ
さぞあろみちとどろふて死のぬさそん
日られていそくたび人あれがとそふ稲ふ
うちのせてこ死いさつくそのさび人をとろ
しておのをとろといふふらぶんそてかきこ
えしかゞこよひのこれくあしあつててとの
こさまたちをそらかひしふくぞんのふうぶんさ
しててとりのそむかひのきつかつがたる
ふかん人をとうちのせてぞるをわかれく
わりせしわかのぬそ人ふうでがいなしふつきな
やるすなとのくえってかひらちふつてきそひかるを
下へ

まあつ
いうてききえしふまぬぞ
人ありふわくとそうらん
とわひとくゝのまえてそ
ふそれつあえとあ

△テ少
なわさるとかさをたつねとてあしふ
うろいゝ肉下さくぐしろ
さうせてゆくわどふ夜八子あうのあそたちふけるかうとち
くらむひのあるひとかちをけれやぶなかいとてひよる
らさのなあつて子どのひまあるとすあのひろくちらくと
んえしかかまちゐて一こんの田すれこにでや
とて門のとかとくとうおさくふいへのうちふかそんあの
こまってくさのかくのあていかとゝのりやうてあぞく
してしそく夕をひえあくるそとえれか
次へ

もうのまてさとうちおとてて
ひるひとところひろくみそ
左右らぞうとなめと一刀
あかぞうけるえ勇力ふみる
あまそひのかえおそひく
ゆけてひとりもあらぞたつけり
あそくへ今この田ある手南
さの加ええ
七の田へそふぞ
ぞるありしかが
ちちそし
さきち
ろけれど
されなぞ
家え思ふ
あちねが
△テ一

そのとしのよろひみせてちあまりのゑぞのめてかくちかいひとやれされども
くわくせいいえあくからぞてよしあるのゝおちぶれさる
あやけさかれてゝくスゝえかけるされこの
あるじの女ぞうかいそうとのかへらか花とみ
ひとかその人あちあいぶりてあんあか
そもされなるぞとてふかおそのわすや
よているとふ又れらやさびん人ださ郎かあるの
かされのみかか万兵衛ぞんといぞく一生いわをなちて
さけらん人かへちぢすくもねんかこよひ一夜さのやどりとのる
しなびてんやとこかれてあるしの女ぞうかつらくとみよ
うさかふいろすく
そうさてさぞあんな
ふおいしけんあるや
はせこよりのためま
いそくいまよ　かへり
そべらねどもて
うきをあどのべん
身ふてひとりさびて
られのあらんかさ
るあん義かあひか
はきそちのつれさ
まひけあいざく
こなさん入りかへとそ
ねうかうえちるち
なにてゆまちやされ
らしひやひをた
らでねんころふ
由てあみしゆ　下へ

嘉永元戊申年
夏四月十四日稿了
著作堂口授稿
筆福硯壽
大吉利市

馬琴作　全五冊
女郎花五色石臺四集
二の巻　拾丁
豊国画
和泉屋市兵衛板

一の続 [illegible]

上の続 [illegible]

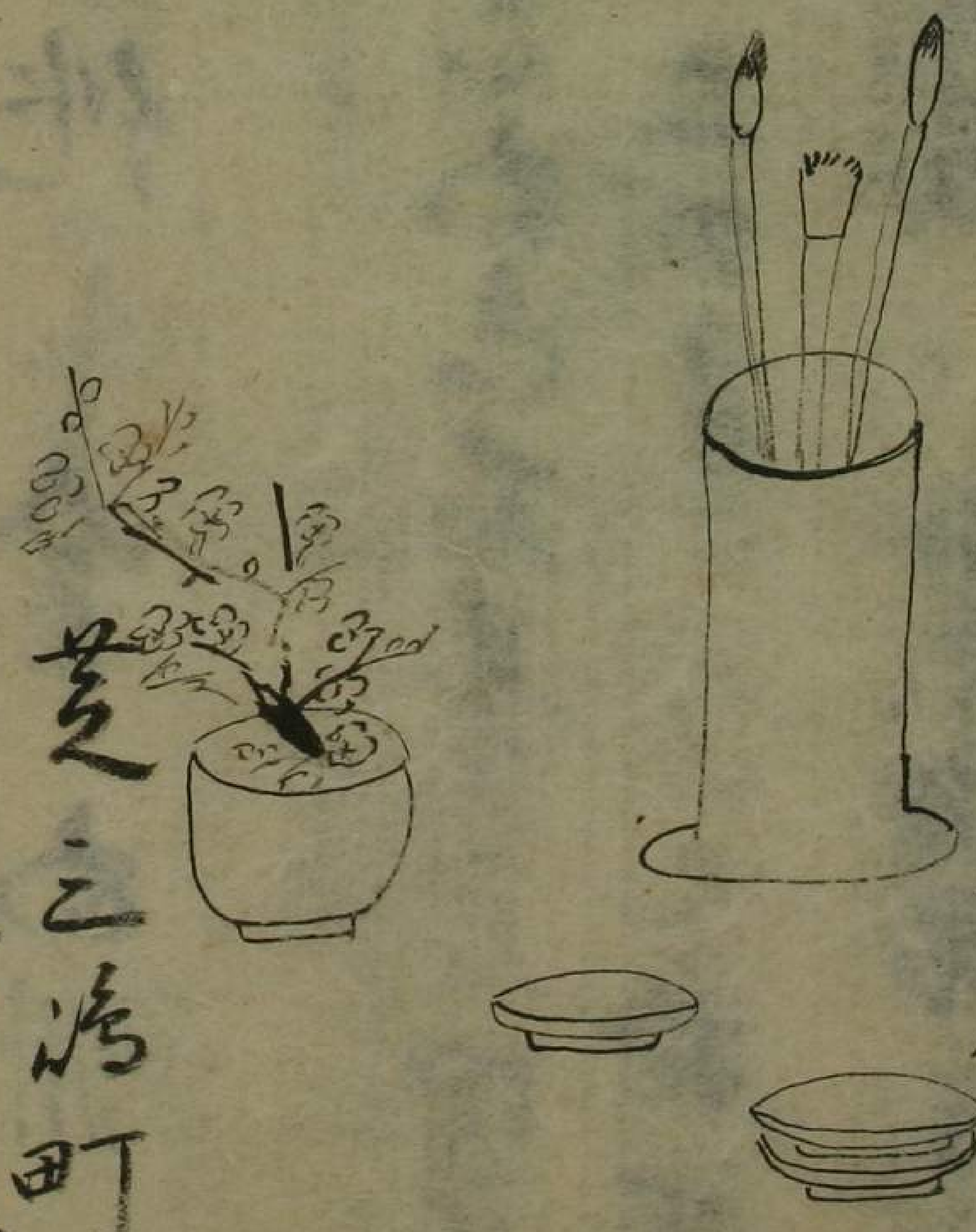
つゞく



# 馬琴作

# 女郎花五色石臺 四集

豊國画



第二の巻

續刻魁本

芝之汐町 耳泉堂板

とちてみるそとに[illegible]みしかたくらゑそのぞみせらしなひてあとそとらゆやげそらくして
くみくらにありしかどふかくあおあかせてころけれどかさせむらにおもむゑて祖師堂[illegible]
ぞえゑそらちもる下男[illegible]にありてありけるにかさせて[illegible]五六ろ男[illegible]
五六をと[illegible]をゆかまるせて[illegible]ふらけるに
しよりごけのむいゆにみつからしてなりあどなりよてつびあひやぐそやう
ぬるになりし人ありれどもらゑせいあれあかのみちたかや[illegible]
もをるけのあらねがさゑのあるしのたく[illegible]あつくつひてせんとの[illegible]
てあさか月日とあくりあらにそのさくる[illegible]
二夜あくかの[illegible]よしのしのを[illegible]
そのにうちのりてゆくてをいそぐ
とひ人あれいあさむゑりくふるに
のせてとりひしゑ
うちころしてさ
ねもろよろも
うそたとるあ
さやりゑあらか
せ[illegible]をおいらん
あらさる[illegible]
ら[illegible]その
てさあくてか
偕のさらんみ
とびののかのそら
にみさ[illegible]ひそう
にそつとのあくるをたまめて
二夜なくいぐしやりけるにとよびてそうらぞ
とらくしてあそかの[illegible]をみとむるにぞよれとらかれぬ
うち[illegible]なれてロとあくらからら人あるをてなしいと

あくをそそとさ[illegible]
ねいゑそうあひゆそ[illegible]
[illegible]

ふしどその中そふしどまうり
けてやそそらかせしか
そのくちおてねさ
けのさいさ
やくそうへてや
あらとめにあ
ふちそのあ
わがてよりかんなにつけされいありてをそあらんそうらむもかのきてさし
でさいしなりかがいとくニ月のあさきれた[illegible]大つてさゑされかりてかしてかげいのて[illegible]げ[illegible]てあられよりとの[illegible]
にそありみもしてあへさのあとくなの[illegible]あるとい[illegible]かい[illegible]ろみら目をらへ[illegible]
めてみくをひゑよせてさぐやうにおいかん[illegible]のろうての[illegible]ひとう
言[illegible]こくゑそ[illegible]とらめてあくふさあやしよりかれてかそくにあらうまると

下へ

うちとめぬへねろなせそとさつの[illegible]
さやくけにゆつい[illegible]の悪男[illegible]
[illegible]やらぞをとひゑさして[illegible]
にアらえてねらのあるをあるや
[illegible]まのそのたとあるあちに[illegible]ける
ことしとそけれか天にようとて地にようとか[illegible]

つぎへ

ちらのうちに居ふやうな気はなかなかもつともとよりにくゝなりたるかゝえのかくれがに
やどりをもとめてうらみてかゝさん大吉利運りん父のみさまのみち
のえかうかさらぞかに氏のおかん弁の三やうだよふとそあらんつらぬ
そーりいぞくうちとるへえうかれらうくにあつが入るとまうりえてくぞ
そとるが気々とあまんもまでにてこきうあれがひそくにふーどをぬけ
いぞく〳〵なかさん茶をさうたけつわの夕びにふとんをうちきせてふーくる
ちくちらへてその身たかりべにひえそろぞ今や茶ぬるとまちかさり
けるやみにおな〳〵らえ七かおてらのふー戸にあので入りてすりくる
やらぞきとりなそ〳〵ふとんのうずまらぐさとさまもにちつとも手
とくへせざりし加がむそん〳〵よりとおどろえあわてく〳〵いでんと
あさらうーろより大かのいつせいおそらのそやてさ
ろいうらびとうてらごくせざるかゝえのやうござうち
おとしてちらにつる〳〵よりやのかとりにて
よとひえを見れがおどろえさいぐ女ぞう
おいらちとりいでつ〳〵わらてらうを目てきらば
さてつむ本どーもあやせ見ておそておひらりと
身をかわーてわらてらうまくてひえさうりかいかのさされ
丁ときるきられてあつとたふれてもなをこりぞまおは身をかわーて
おそくのあー〳〵とさらんとさとらをおまくすきもなとけるべ〳〵たる
まだ気をそうへのとら気七のかもねへ〳〵とうとなげ〳〵かがらえ七ハあろうのなかへ
身んでそとつてむそのへとうとなげ〳〵かがらえ七ハあろうの中へ
子あつさのさすかうちとまれて身ハうるみやうにつらもよあーしも
やけどのいさゝと友のびつ〳〵すびかすみれてていどろをおそら
ハふうびそーふせていろりのこうざまようすがり大あく人めらも
ひえるやなんぢハそちの犬をんそあさもてかへあーかこあらせ

上ノ かゝるとこきうりとぬえびうてきうさえんと
もてあちこちりとかの身をさうしてらるーまきせ
かゝを かゝるにらびうちおとしてーしめてあさ
りそ見ちくれいおいつかハまざかにげうせかけん
そこらにあちゃびなりーーかどさまあさうちは
いたうるもせまじふうよるやーえとねのかうー
えのそちうらにありーーそ川よせてなけつら
らえてふさめのらびをそーえにの身かーえに
むろひてなるをとあわせぬらびえかゝみて
るえ又後
離治と
台平の
うちうちをとゞへ
あちらあをそてく
かくの台びを
ふろうえけて
みてがさぬうち
ゝけてーみか
ぴそるふさそその身
かゝるもさとせつかーの
ぬめのいそてよふかーの
ひらりかうそてらえて
あけかゝちくなりか

〇あるさテまでうへおさまのさま
こうらにおいで ゐさされふ
とハあもかくけない
ござい一かんとんとーぐて
くうかありーまうせる
京伝

〇かくておそらハそとまもエくるてとこちかて
ーのコとすにを町にて夜ハあけてありかゝ
ける

ひえるやまなんちハそちの犬を

ちんぞーうちでの台平をさん
むじゆのつきにおしー入れて丹う
こへい次たけつらの顔くあさきさ
けーよまー〴非たびをかかまる
とかなそヨヲうらんぞれこのよーどろ
とまぬいねたてそまうらふーして△

置
つらる平よく茶て
ゝさのつこの
いふエとは日ある
らくてもあ
りやく〳〵
あくりそにて
ろくとつけて
これへ来や
〳〵

△久若を
ちの気今月今月
のそまうらあそかゝえけ
つらそうちてよし
今ら又なんちの台をを
とりて父それいふ
あそけねるよろしとが
ぬすのかのこれかにつきも
へえらでひちるやとせめ
つけ
せあつい父の
かゝみのやさなるなの

下ノ口

呂
「これらいけつそや
ちづくみてやど
ゆとめー二
むそう〳〵母

「これらハそてひちく
おゆうとさのむてく顔うあね△

母おさ
おそらのかよ
めうおよ

八ね吉
とまり
よんへのあ
さうちと人
のらりさに
こうられ

あさんと
ちへおそ
かり〳〵

△
おそらう
ちゃそよ

十三

きのなくこきうもよみれかやてかつお
ようきよんへよりして身をへらくろの
つれあるえかあうされハ芯ハーかしこ
思いとりんとてこきよのみれハ悪身
ふかさえぞすてむのつらよちかはとか
をる富りのそをとありまハ十七
八なるべーひとりのそをとおそら
そろ〳〵とたんおかこどのつまでてく意
ぬーのお社こさみやであらんつらん
みてれあるハ寄せたうのみきこれ
いせの日下けかね大黒ゆ娘お
名をとめにきえるかーと名
のるにあそらのきそくさとそて
さてハよんべくまくらあてこれ
らうたばからをうちとるそり
あろのあのぞと名のり
かけてかゝえのとも人
いゝよりかうちてよし
たゞひねる事ぬこて
ありけるよといへかかな
ねるまゝよみまている
とふおんの身のこゝなうらぞ
その身ひ芯すりーまるうまて
かゝえ和平わ つくみわを
うちよるとえ

つぎへ

かのものゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

このおりからも[illegible]

[illegible]

[illegible]

よんべさま[illegible]ところのなど[illegible]
われけんらうとも[illegible]
そことも[illegible]
[illegible]られさるちや[illegible]てふ[illegible]
[illegible]せめのとやえられけん[illegible]とられ
[illegible]とおそ[illegible]さにその[illegible]氏
これを[illegible]て[illegible]腹[illegible]の子
[illegible]母のおとも[illegible]
[illegible]てそのあ[illegible]とやらん[illegible]
一すの[illegible]
味の[illegible]て[illegible]たけつら

とうちとり[illegible]
のせめをもてごう見して[illegible]
[illegible]世の[illegible]
[illegible]とくせさと[illegible]
[illegible]の執る[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

とーごろすいろとつくそとも[illegible]
くふをうどの[illegible]ありさりあそく
大くて兄ふて兄ふ[illegible]あさそひと
夜のうらふうちて[illegible]ころーか武士
[illegible]
白夜ニ[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

十七

これゆゑよりへいきち次ハともに人まじく
あさうへてつきの日石たゆへ[illegible]
くるしとふそ
のそてやく
[illegible]かりたよりて[illegible]やがてとても見て
あるよあんふおゐてさいあんさて[illegible]
へいきち次ハよりたね[illegible]むかゐていくきう
[illegible]の[illegible]
[illegible]あらど[illegible]
せられる千[illegible]民ても[illegible]ハつまく人
[illegible]のせられゐてさとあ[illegible]の
さとこえ
むつし
その[illegible]とも[illegible]を[illegible]ひとそられし[illegible]
ちうところひそくふ[illegible]あるせてそのあ[illegible]かそうと
もうとも[illegible]へ[illegible]とけつらを[illegible]ところせしとぶ
せのぶらぶんふきとえ
しふのの[illegible]ひ
いつの[illegible]とゐて
かの[illegible]をあ[illegible]さ
てひろて[illegible]
[illegible]いへちふさ[illegible]
との[illegible]をふ[illegible]よと[illegible]
ふようぞかくの[illegible]とのあるをようたね
らち[illegible]てゆ[illegible]とあらんか
[illegible]をるまのあちねかいらず

[illegible]こすろべんぜんのよとて
かく[illegible]のとうぜんふへ[illegible]
[illegible]
さもあろう[illegible]
[illegible]
とも人を供してう[illegible]らん
かのけり
[illegible]
さても[illegible]
つの[illegible]
さあんを[illegible]
[illegible]とうち
せかひふそんせの[illegible]
[illegible]五ね自
[illegible]なるの[illegible]
[illegible]
のさ[illegible]とけさ[illegible]
おもへ[illegible]
[illegible]
のめくそくして[illegible]とも
なひかへりしよりあさか
[illegible]ふ[illegible]をつくして
こ[illegible]ねんころなり
けれハそんせ[illegible]ハ先

かくて住[illegible]て[illegible]母ふつ[illegible]
[illegible]のふされあるもて[illegible]
[illegible]のをいぬるところ[illegible]の[illegible]
[illegible]とふ[illegible]の[illegible]
りとせん[illegible]
けん

その
[illegible]とも[illegible]
もかゐて
[illegible]ハ[illegible]
らとく[illegible]
かも[illegible]
ふあるをたそけて
[illegible]とるとる
へくもゆ[illegible]
ふらぶんを[illegible]
つら[illegible]
かいまて[illegible]とて[illegible]
れてかのつみの[illegible]
られしか[illegible]
いふのよ[illegible]て[illegible]
[illegible]
このおさとゆて[illegible]
[illegible]
[illegible]をすますせ[illegible]
かの力をとせるさせ[illegible]をねがへしくゆと

下へ

上中へ

よくせざとといふのなければ赤松
家中ちうのめのこらずに一とけい
とこのむものうらみにてヨアク
をそるの弟子にかなりて
自然とやからをとるの
けりあのるの[illegible]
の以の村雨しある日
笠原かの赤松そのまま
そんせいう[illegible]やしませ
ておそるの一とけいどうしても
かつ子人のちりに[illegible]たれども
かんなんあさうらみとあく日にけんぞんさせ
てちかくまみつくえまとてかつけものぞなすなりける
をとるそらかくのそくあれいてん七八すすみよ見るく
めされてのり村ぬいにつるをとこのの村雨かの
とんせうの一とけいのかと入これまでにあつされとも又くの
々その[illegible]あるべ来たりて大かやと思ひあんをおもひ
ある日十二ちの巳の刻六ツでうの一家いち
さてそん七にあふそるやうむうある人子の年十二を
かれつら系て小判のたかむらによせしかなかむかあり
右あんまねよりと子子子子子子子子子子子子れのまみ子ども
いふあつてれもそれにあらりんとそとふかの巳の刻六ツ
ぞかかれさるとそりぞうそこれハ何とよむやらん

このたびのおちよ八人あまたてらわきをせきる
ものなければかたなつきんやうてと
なのりぐ[illegible]ひけりさてそのものたえて
手まへ〳〵まうしたいハござるから作者
精製家傳の妙やく神女湯乃婦人
ちのみち諸病に用ひて即功あり
又除痛奇應丸本方熊膽
黒丸子婦人つぼむしの妙やくハ
その功いちいちしるしがたし諸家
[illegible]めされんじなさるべし
販次所飯田町中坂下南側
よれ滝沢氏と[illegible]かいかとや
あれうしとくまさん勝手を
こしらえてたからふきそ
あまたのすのうち
これよりのちハそれもたれ
あるかなこのまへぶつをさきなり
なりとうとうたりとくとようもれ
世のさらしとかたまるを
れいよくそん〳〵

豊国画

馬琴作

浄書 谷金川

嘉永元戊申年
夏四月十七日稿畢
著作堂口授稿
筆福硯寿
大吉利市

[illegible]
[illegible]
写[illegible] 全四冊
女郎花五色石臺第四集
三之巻 拾丁
英泉画
和泉屋市兵衛板

三

その[illegible]村[illegible]二三人[illegible]

[illegible]

下へ

[illegible]

二十一

五色石臺
豊國画

[illegible]作
女郎花

桔梗の[illegible]

嘉永己酉
四冊續出

芝神明前
甘泉堂板

(三)

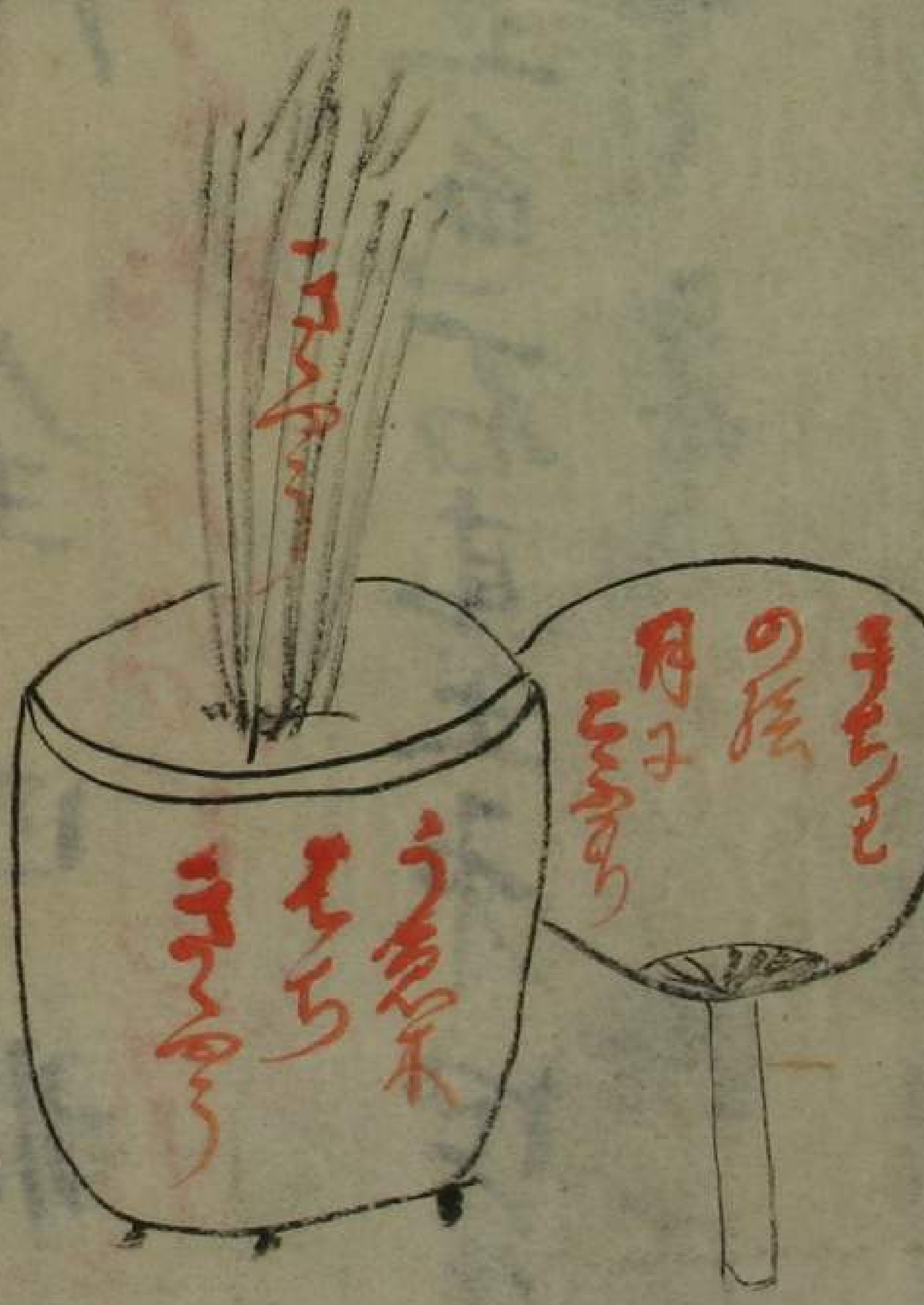
そのころ[illegible]の[illegible]の村ハかの[illegible]のよしをもて
[illegible]お仕[illegible]せざりし[illegible]原郷の[illegible]れいかの日とよ[illegible]
[illegible]二三人をつれ
[illegible]山の井[illegible]
[illegible]
[illegible]の同役[illegible]
[illegible]
再会[illegible]
[illegible]の村[illegible]
[illegible]の口状[illegible]
[illegible]村[illegible]
[illegible]かへされける

下へ

[illegible]

二十一

つゞく



[illegible]作
女郎花

第四集
之二

五色石臺
豊國画

嘉永己酉
四冊續出

芝神明前
甘泉堂板

○かくてのり村がとわのりあんの庭にいとうるはしきつげの木ありけり その木ぞ三どんにさかれてさるから かさねとぞいひね～きく ざるひとれかるなめなく あるにその木 ふるかみ 然れどもたえてふるら ヒと大さこあらぬが のり村ふかくいと [illegible] 又いかにとも云ぞ なしにそこぞのふるつぎよりもさい [illegible] くりける わんとれわたかいさわ られよる [illegible] あらんとてきりとて もせてあらけるに [illegible] の工をなれが ある日のり村かきんぎるらを [illegible] さがくて

[上ヘ] まことのさ [illegible] ひ三さひ子 [illegible] の [illegible] まなあんしと 今こ [illegible] を [illegible] りありーしと やうてひそう [illegible] とりあげて又か [illegible] の大ゑんのいつえを [illegible] さのこの下へ [illegible] り [illegible] れ [illegible] ありて いつえと かそ～ [illegible] 木の [illegible] ぞてもてわつとか

ゑよなんのあ [illegible] ぞちぞか小田氏と いさせく [illegible] みな石すさこの [illegible] 小ちぞ [illegible] それて [illegible] つけぞいけぞり けちにこちねんとてそのかとり よりかつのとぬれあらわれのぞ [illegible] 人みなあみや [illegible] かつとりとや てとらへんとせ～わとにさぬれいあけみち さり～あのこそのこの [illegible] あり [illegible] そ [illegible] と [illegible] て [illegible] り村ぬ～いつけの [illegible] とそ [illegible] のり村かつ [illegible] ち [illegible] あ [illegible] とく [illegible] このその [illegible] ささ [illegible] そのこの下へつ [illegible] 又れく いとも [illegible] ありけ [illegible] 一国いちの大ゑんとなりてそこのと の下よの [illegible] みな [illegible] さ [illegible] つ [illegible] かどろ [illegible] 下へ



めい [illegible] れ 大ゑんと兄え～ [illegible] ねんきて [illegible] さ ぶつ [illegible] れ [illegible] みと [illegible] て [illegible] げん ともか [illegible] し [illegible] 村つ [illegible] けは [illegible] そ [illegible] のちく [illegible] ひ [illegible] らーぬいれ [illegible] みなら [illegible] 入ら [illegible] いく [illegible] つれく

たゞあんとなりて人と思ふがさきるあやぶえくていこそふくむかとふばり
されどよくいひかゝをあだよりてあひあらせよくせよとや
ふりうさちおひけりそうら
よあらー むて見舟へ
ありとうみつ石
まさかうとも
ろとも見そー
ちゝく相伴
誅てその
やうを
とうち
見てそ
そうや
ふむそ見
みれいそれかくせんをさけて
のり村拙よそいさむあやりけるに
あのさぬきのなきと不ゆくなきに
あのかゆへともけもの八義侍姫と
つけとも去らぬ思ひさきれば四の言うの
大思ふかくと四のそらふあゝそつり
てとなみーれずねかれうえつきな
うら只今あれをとうーゆみーともの
よ与やれかいのぞ只今いうふと
なれあれ佛らんせよかれいぬ
さぬきにてそらのいとちれるあ
みこのうちあぞいかんそのまで
らむをまさすてつとあへそらの

子さんところさがふなんとやーもべうらん
かりんのけものをとるにその跡をところせん
ころそさまけ子そところせん跡をたをけてその
跡をいてよのてころれふ仁伯のうちにも仁伯壽
つありますて一國のうちをさのあふ底のの又母衛と
よてふに申てよかいらんやねうふたあのさぬきを
それやーすらーあかりて子をとらさせてのちふこそ
かわをえとよりてまみらせんさいのをそおやー
わなかさるさと又化るのはもなくねうふよと
のり村つらくうちやてけが先をせいの
いけんそのをありさらがさぬきの子をとらむ
かわりてふいどふえらありこれをとひと様子
なをそ時れなのあやうら風をとあまうどて
あつさとやのでふさえりありとうひつる
そのものあるなれハこれそのえとねてのうら
まーわりさて婦人の衣をむねとーく
そうそをむあく是へうらとおれてく
やりてそへんのさぬきそひてれ舟かあづけ奥が
むてれ舟かとれのめんがく工をようとひの所
さらんすさうりすきひてあやすまのよもうら
とれと御ゆるのかんよんとてみなせんさい
○かぞとよまへける
かくてむてれ舟もねせさぎか石の下へ

つゞく

そのひとむすめのあるけれは玉面狸
きつねどらいふものなるべし さてに
百年あまりもへたる ふるきつね
とかくわかれともそらのいとふく
らくなるわけで
かりそめにちよの
ひあらじ とふらぬ
さへやれてありけるかと
ふむそれみれはひざをもちめてさん
のきつねにうちむかひて やそれちく
せうよく [illegible]称 まんべて きぬ[illegible]
人とかれ 那須山のやまに
こそあるとらかち
てそのさきみがに
なるそのかあわ
あんぢはいとおろ
かせそのせうしのちからあん
のかはまかつまずせずく
かりせし[illegible]に ひひきうなる
めらかくをわらしてあるかれ
つまをかりまでかところさる

ちくせう子 がらとのさま よりわあが りのこのさ ぬれなさけ そくくあも のさめたちらぬ 女房で ござりまする

命をとられぬとや こころなきそ あるをかなし かなけれとも あそこそに うらみがおさ のちよまつふ あたへにあたる べえにたんて をえるも ☆

上方 そのかさちちいさなる ありのまくにてきらなる け口ずまへあかとらこれを よあをとふらつのとれがある たうにして人てとふにより 世手いふきぬれの玉かたし ともふえんとをえぬらたうち もかられぞその首とむて え那須の原とうに日て曲理て かへらくへとつけしかがむそれ みつらかくえんてさそかあの きぬれのそらのいとえれかり しれ方ごあり よろれかあら ましてこの玉あるかより てなりめしきぬ玉をとらす さもあらがされのよろくらぶ ひとよとくべれ只きぬれのこ あらせ略 夜 に日本 ありてそれ日本書紀 あよふ えんさ れが馬の玉と 作合さ いふ亦へいさら ぞさらとれ そあかうち

べかりしとてれなかいふうく あん
のありうもて兄ろにあのびも加を
とかきやよそてまつりてありらく
ありうしあづかりされども ひさしかあべれ
命にあらぎてかをらきくてなかそのかを
よきてけてあんちをみろさきかあるべうらぜ
あれどもよろしれ三百せんあらかあやすとも
ふきてけまちわしれ かの只てかあいろのをいかざ
そのそうりとのいかるところとあらざれはいかろの
なろぞあらんつらむすいか殺をまつくまたまくよ
とさあらち人にあのいふとくけらうん根どろあちけれが
たぬれはかりべとよれなみをなかしてあやまり入り
よる風情ないなりかそてあそれ秋の木のなごきよ
いかつけて三三天罡ありをつらせたぬれをたいの
うちに入れおれしかがなんせをときのあいあわれとて
日とこにあよくかのをあるふろに下女あつかべのよを
そそぞありを忘んりのにとらんかれてかいならし
なりけるにおよそ 二三十日にして たぬれはさんのけや
つれにけんいとやさらりようこいとさびし かそのまうにけ
あちさとしてこまさに引とあの玉あるそあり ける

下へ

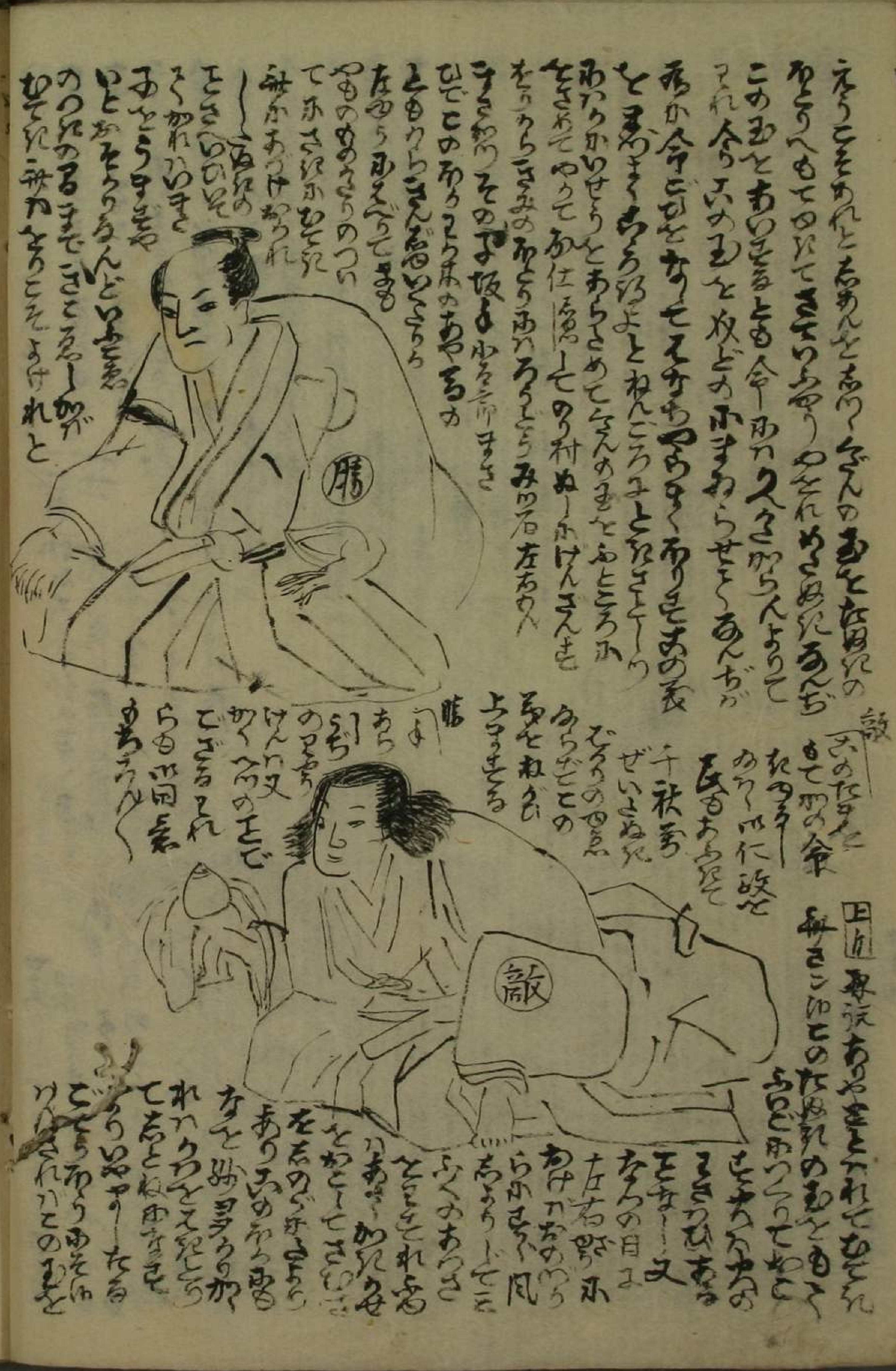
般 げに大人の[illegible]のたへく君 ござりまうとおめてたきぬれ そやくをそへつくらせて 子をとうきせて早さ いかのあや

まあらて石にならるれ石奥 ぶんなりまた馬の中によ よきへきうめんよりいつるの のぬのくし又いぬの玉と狗 宝といふところ ねの玉と狐宝 ことをいふ白 狐二ひのやくの玉は かあらきやろし 毛のいろのそ

こさへしきうるか ときうそのむを あのあらくあるまる あるれが人ともを ろてまさあわけが よくありてさい おそきれなり さぬれの玉は いかさるへいはま さあるよしなすれ どもされも亦狐子 わすがく玉とあいそる ものきまるべし

つぎへ

下へ
村
秀
勝

勝
敵

かれら命かふうへさせゆひてたねはんを
まあちやのかやさぬれれ玉を
あいたやせくなかくこぞんを
いぞれまちらんけて仁兵衛
ホえへらずやとてとつせのべて
このまうぜんのの村かんりん大へき
あちぜけかむて死新のまうさと
てとく玉をうぞふてさぬれせとうさが
そよて才一のふ仁あるべ〜玉と
うこたるいさをあれがさねれう
されのつこを円ろーて大あち
やるこそよろんめれみあ〜この
義を畜ふ上ちまふとどうれ廿い
義ある死ろちどようきうけか
ありかな死仁段せん志賀べ―と
まうさてあぞわり村さとあから
むて死科ホちやうくとどめけて
よ娘と又あちやらせゆへおむそ
死舟ようとのらけて志あく志あか
まちりてそんせとそるホ丑さちの
志留ぜとつけあらせ又さぬれ小もありつる
よーとねんとろ申と死志あーとあんお玉を
志むてなく命のたまつりーをよろこび志が
中ふ子かれ申とそらめてみさちの平とうへちるくべくらぞ

（上り）大丸のかうさ千そくのおちさおち
の三吉殿ハさえかかせめつちとより
ふでちく義あとす
まら平ホえちら吉
めつりあゆて
かしこのやさとと始まー
より思ちやをがそのす
ホ手そく杖かへさしーと死
おのくゆくてとさんのふ
きとるホ
わてう
たこよへわそりま
ホやれて
て留ホ也
り覚るえ
んせをそる
ホといめんを

（通）ありやそ路でもある
けれど留みかけて知と
のとこうちーすきて
まついやちホとちなまて見
ひと夜のたさ
ゆそとよのて　すきて

この義をまつまされそとさとうて
まのそらやせりーかりをのらうれて
いとこらーかりさぬれいやと
うれーけよむてそ
あ舟えんせをそえ
なをふうおかう
むやうかーてたち
まちえとえごなり
ふけり（さくらやつて）
とのさぬれのものくられ
図

（万）このぞくらーい女中さんとちと言
まうれちとでかすいそあぞあるうら
まうとそう玉よみサアーこちへ

ごぞんせく

図あて浅えんありといへとももそそ
才五らふかつぶさかせんこれら
のうのい志ちらくおれ七文
まうーふさんまうてろる
さるホとかとん見むねあそら
下へ

てかうも鹿むさ死新ホ
おさらちのよをつけんとそ
とあホをみちをとうつて
十日そうよ
日うきをへて君ら
くみ七
ホのあ
をとうめ
名所ハよ
古世屋を
いろちらん
ろそ
て

里まそよちやまち
いろ禍
うつく
つまあんなど
うさうさかめ
留てもめ
けふあさこい
とうこみて
ねうさ
なほ図
○で
あ夜

図サア
いろぬ
ちらとも
アハウ
ど

ちりぢりになりて[illegible]とかやそのゝちのさ[illegible]山伏の
ることにてけりまのせわむかし元弘のみだれに若松圓信
越後[illegible]三人[illegible]ありかその子郎[illegible]
その七十八[illegible]とせめらるゝ[illegible]
ところ[illegible]その[illegible]孫[illegible]のせいよりて三百[illegible]
さる[illegible]
かさねなりになりてこれを[illegible]
[illegible]くて[illegible]七ツ[illegible]
おりから日[illegible]
[illegible]
つけて下男[illegible]二三人より[illegible]
[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]二八[illegible]

[illegible]三百[illegible]
[illegible]
七八町[illegible]村[illegible]
[illegible]
[illegible]同[illegible]

次へ

よのれたかわるれざるれなし
されば又父おやかたのむすめ
おこれつかれてやる時ととおなきち ぞうらうとうけとさとり
さむれ日かさいとそこでのおしれのあらいきて死
これをなすとよめおりさてわくの江死あくふ
人さるみなかわけされともさいの地かいまちであ
とあの村さみあるとなければ化ちよの人とも
むとをけらの人もその地さいのみちあらぬをかれそ
うとみてより見をむさをぶあのなけれがこんいん
よそをもとあご
むかしよりの人ちよ
いさるすで只次の
村の男女をめとよめあいつかしむと忍つかし
下女雪ば下男ふもすきとあるよみるその
ところの祝ふうそぐふあさかすことといふのみるし
らくともとく よあか多とめよりい死ゑひあうそ
そのそつとをのとの智かをそっとか家
のさうりふち西てつきおねをよりやとより
よそりとも つまのあろ外さかふをあれれ
そのちつとを おいて みそうの子
かへるまとを母ろうん志ちと志り
とあか このでとをきちあらうく 智へ
とも いれかわよちやよかり
なけれかひれくよ あさりの金

母「まさつくいさらあろうと かりやてそ かけんを ふさなく さんれのかやく」

父「これさまさむをすで あのもひそんさよ よびをとてせて やりませう方や あつちへのそこ入れ よびせんとく ごさんで」

あなつやと サア〳〵 あそをかぐ〳〵

「同き 中々んくわの下 のどんみて〳〵んざう ゆうの子うぞくえ されだてすを 孫み加くといふ ことさござかこれ ありそく」

人とたのとてむさとと のさあよ
よめとなるとあかろすとつかや
せかぬとつかし めかやく
まよんをさむるを 身のあろ
こが ふせさるかなし
あの母あか下女
すても為めうを
らぬまうあるなく
下めり いあれとも
あれかとし され
かふや いぬねて
ふいさる 中まく めいぬ
め死とかあのせら
れて去向 こさまみく
あかぬれはなけれ
とも そいぬを 死これ
うろさらがのでも まあ
さるいかざよ あさふる れ
ちれなり 下へ

むすめ「こまぬせんとさらかてから どうやらかうがそうござ かうさんあかゝ子 さいそこんな それあやゝ○」

○ころぬへがるらう そのあとぞ

「そのを ふみと 加りへ子 いそれ ひり とあ しま」

むまふ かられ 首甲

むかしの天地さんあく せまよあるのは そこさき なれどもひらくへんで えそふくみてみをまつらを きらひねだくんちを
みの法師 渟山休やまう

とよせつけねがそのあやまちをさとる
ほどなく…をもって世の人この
地をよびくてあやなしぞ子
なしてお村といふもあり耳学
村と一名いはいま　こと　ぞいまあやか
おやのみちをならはぬ…子たるみちを
ならひとふ…まんでみる
いまあはれ…もて耳学
村といふなん…なりしくに
ありしところよりそ…さやのせんる
山…ありけり年…おかくて
同行…あり…
かわ…
さちの…
ありたんせんの
あやうけなけ
れど…山
ふ…ていり
をむきそび日を…
このむら人のかどにまで

こきようとよみとこれをもとあた
…五てらのをしえをとれて
神道…の六…伊法…の
三教…五戒…人に…あるをしえを
のべて善をすすめ悪をこらしさとし
みちびくありしとれどもむら人ちつとも
うけいれぞ…ひとつのみの…文
のわざとものとこそありありとなりければ
かへつてこれをみるもまたあて…の
をなのと　その…

二十九

つぎへ

この義をきいてあゝどふしても合点がおこさぬ
ものにて あらねぐらんけまするからが その
ものやらまへうらぎくるてよろしく てんを
さだめて うちたふし それらぶちえて村さいよう
かひちあるべし 日一又すみにあるをるを
あらん人を早ふとりてえて 在つり
てかけかと一にわとるふ
べし これかのめくん
なびの
さむとを
うとあな
ぐらせ一か
あの口安山の
おかみある
ふうれ [illegible]
とふいかりそむき
ひそて ひとりさとむの
なつと [illegible]
まさ [illegible] らんけてとこ
かれつけてありしと [illegible]
稲妻 [illegible]
よーや いなつま [illegible] あれなる [illegible]

みな [illegible] 村の [illegible] せぬ △

上へ たぬ一かなーところ
のおにてそ [illegible]
[illegible] 人あるとかけれ
かれしても
[illegible]
せんとさをひ
かれど [illegible]
すわちりとも
[illegible]

ゆゑせよ こつらふひとりの [illegible] こゝちとの法力なれば稲
あたまを [illegible] のあるらしぞ [illegible]
[illegible] てよと [illegible]
まれがみなく [illegible]
とせんかゝりせんとて [illegible]
けりされ又かの [illegible]
うる [illegible] とれ [illegible] ありけん [illegible]
つれの日もいつものごとく
りんざう村か [illegible]
けてそてえと
とかけ [illegible]
[illegible] ひら けさる
村へかへりひとても
わよあて 十人あまり
[illegible]
[illegible] みちをふさいでちつとも
とらさぬとるにたそさる
[illegible] とうく このめくんなれやら
こりぞ [illegible] 又 [illegible]
あ一ふとみつゝや
このむらへむかいよう
みこ山ぶーをちからけ
ぞのかとさーまる

下へ

三十

次へ

[illegible] あれともかせ [illegible]
[illegible]
[illegible]
と

いかせもそこでむら人らハまなこをいからしゑよくやから
こゑりえ[illegible]さきもふとしとくうちふせてわらぢや
とりふりかへりぶりふりあげてそのからみあ
うちかやせと日いあのまいまけしれかく
あづのかたゆうそ見かへりておのくまが
そこ見をおくみてぬどくあさらが後ふさい
あらんあの武ハむらそさかんきかに
めんざんせ[illegible]くるへとあれかさい一の
五人ぐえ也を石とを五あるのなら
ねいいふをあおひてあるへうらぞころて
[illegible]あらせんまといふさとや[illegible]
むらへらいふてぞぢりせこうあふて
いとあやかなるいちの手のあしを
そらひのこまつたがへして
ぞさふてなかせをかけけり
かくて先ハの上手二三人むら
をさかん[illegible]ハあくあよあぞう
[illegible]見てこそあくしとつげしが
かんゑん[illegible]み[illegible]らないにて立る
もう[illegible]のさ[illegible]あのむちかくまや
山へのかりへかりてかけ[illegible]かしとて
下へ

みなく
これ[illegible]そうてれあんあう
れさのも自ぞう自
よく今をさとのお
ござるであらうの

のわらさ[illegible]られる
くれる

[illegible]
あとより[illegible]とそまろ
ものとるとかへしけり
ささてこのよんやと
やのまへのまそら
いをさかのふか
またうしさと
とあるをも
よそかよあるる
んさう稲の
そのとも
ゐなりところ
ゐべし

稲

一悪の弐
推参さ
そ手さに
かのり屋
善も赤
さうさわ
時ありや
白二而さん
なるとにあり
一進一退なく
とおまりけまる

のかとるなる五く
[illegible]

嘉永元戊申年
夏六月七日稿畢
著作堂口授稿
筆福硯壽
大吉利市

馬琴作　全四冊
女郎花五色石臺第四集
四之巻　拾丁
豊國画
和泉屋市兵衛板

四

かゝるところにむらさきかん花もおもひえらせ
あらはれてそのりてはやくにきたりけれバむら人
られなりくとあつまりよーそのつゞるにぞ
かん花ハいでてあらはれてあらはれたるをのに
あらはじとくまや山につりきて出見てかけなら
にてせーかさつけよいそげくといらふにぞ
さりとろうなりといらへしてそでえがりそのころ
日の三四人あつまりからげーいふつきちらうま
つるーりも日てゆく極まぬーむへーいるつすれ
さるうらせみのゝなげ
ーしてへあとにのこる
いざなれのもかられ
そえぞ
あり一かが
みるくなと
それのあるみれ
てさてかあの
そんなまあふーれ北狗
天狗のそばよろしさらきそれ
けんぶあるあらんさとあつちやくあの山の
あの人にありとにとくなーよせてくり
いざさとやといらかかん花バさいりまあさがふ
むらん人あそそーさいろねくおのぐぶらうとさ
さんて山にのむらんとせーわどにてや山あかんに
あんどうーしてくるわとう風あれてやって

下へ

馬琴作

女郎花

石童

四集末

豊國画

ちさんのたちうらはさんきんをさしろに
かんの上をみ仙花そえさるみ

己酉春出

本坂四冊

江戸書肆

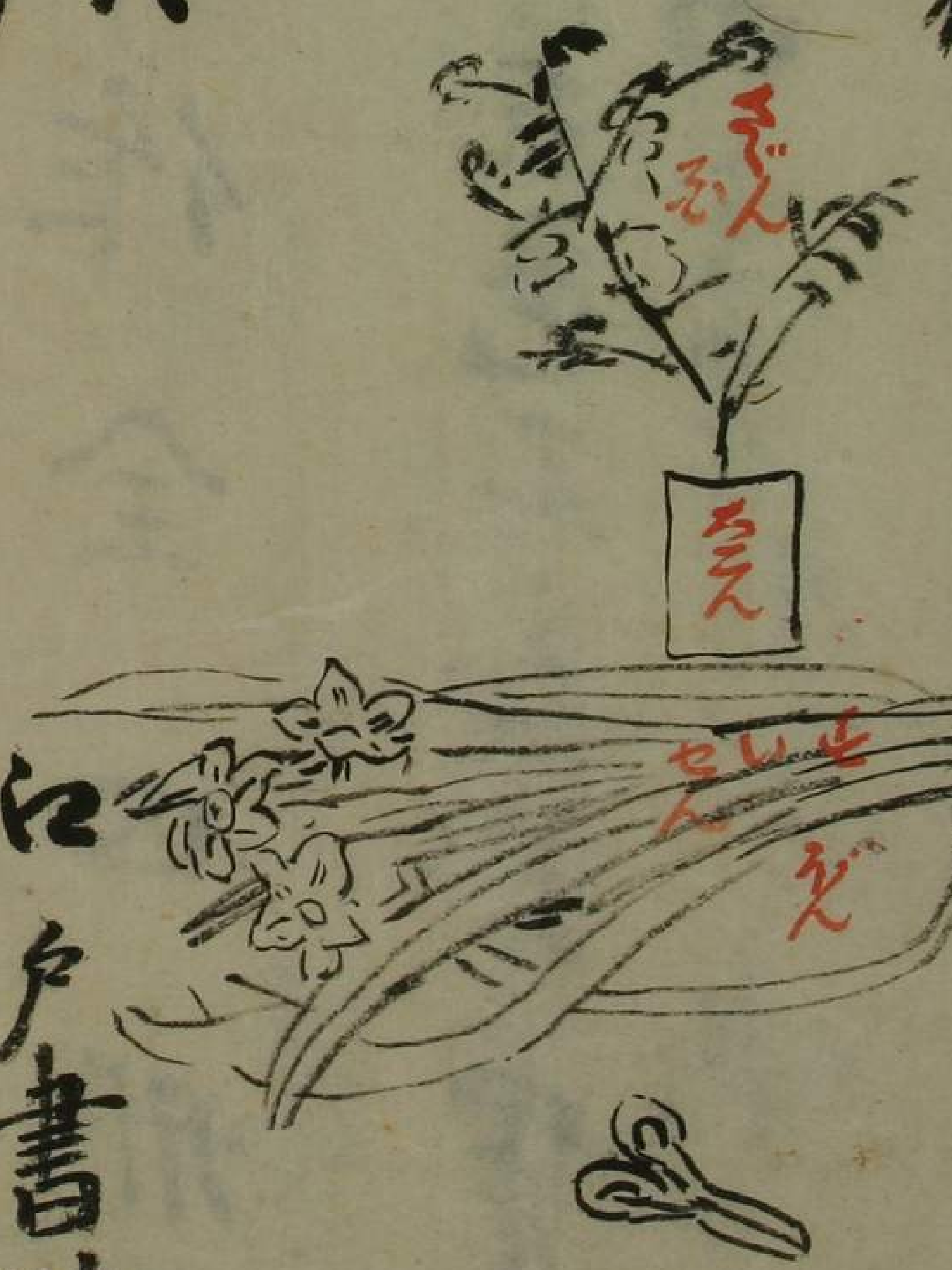
泉市壽梓

(四)

かゝるところにむらさきかん花もふしぎに気づかひせ
あとをしたひてきたりてみれば山中にむら人
られかゝりくどあるつるを〳〵そのつゞるにぞ
かん花はかけてあららん〳〵それでも〳〵めのに
あらそひとくまや山につりきて目元でかけおとり
ふしてせ〳〵かさつけよりそげくといらへさりにぞ
さいそうきりといらへをてぞとえろうそのとる
そのの三四人あがりからげ〳〵いふつまへちうま
つる〳〵ゝ目て〳〵ゆく〳〵ふあ〳〵むへ〳〵いふ〳〵すれ
さるなうらせみのゝぬけ
しそ〳〵あとこにのことる
いてぞなれのをかくされ
てんぞ
あり〳〵知が
みゐくなとは
ひらりのあられ
てさそんのあの
そんなるまふ〳〵れ北狗が
天狗はのそばよろうさら
けんぶつあるむらんこまのくちやなく〳〵あの山の
かのへにありと心よせるにとくおり〳〵よせてうり
いざさとやといらゝかん花がさう〳〵すまさがふ
むらへおそろしくおめでたくからうとせ
さんて山にのむらんとせ〳〵がや山のかけに
ちんどう〳〵てくるかとの風あれてゆくて

下へ

馬琴作
女郎花
五色石臺
四集末
豊国画




己酉春出
本板四冊
江戸書肆
泉市壽梓

かのいゐつまつありや
ゐしや 又紀かゐん
といふものゐくらみ
さのとして ありける
所どこのらて ゐる
これのこゐらでは
のむらぢうゆく
ゐらるべ紀百
せうのむとてめ
どもひとりう
せふたりうせて
神かくしか
あへるのまく
ゆるへたまれ
まてありし
もの八九人
ゐわよかし
かげあゐ
のなげ
きを
りん
さら
ありし
ひさ
し紀
のものか
とらえられて

ハ 河やふおれて
くんざう村
ふうそんは
あへる所
そけか
もんて井丈助
えそう

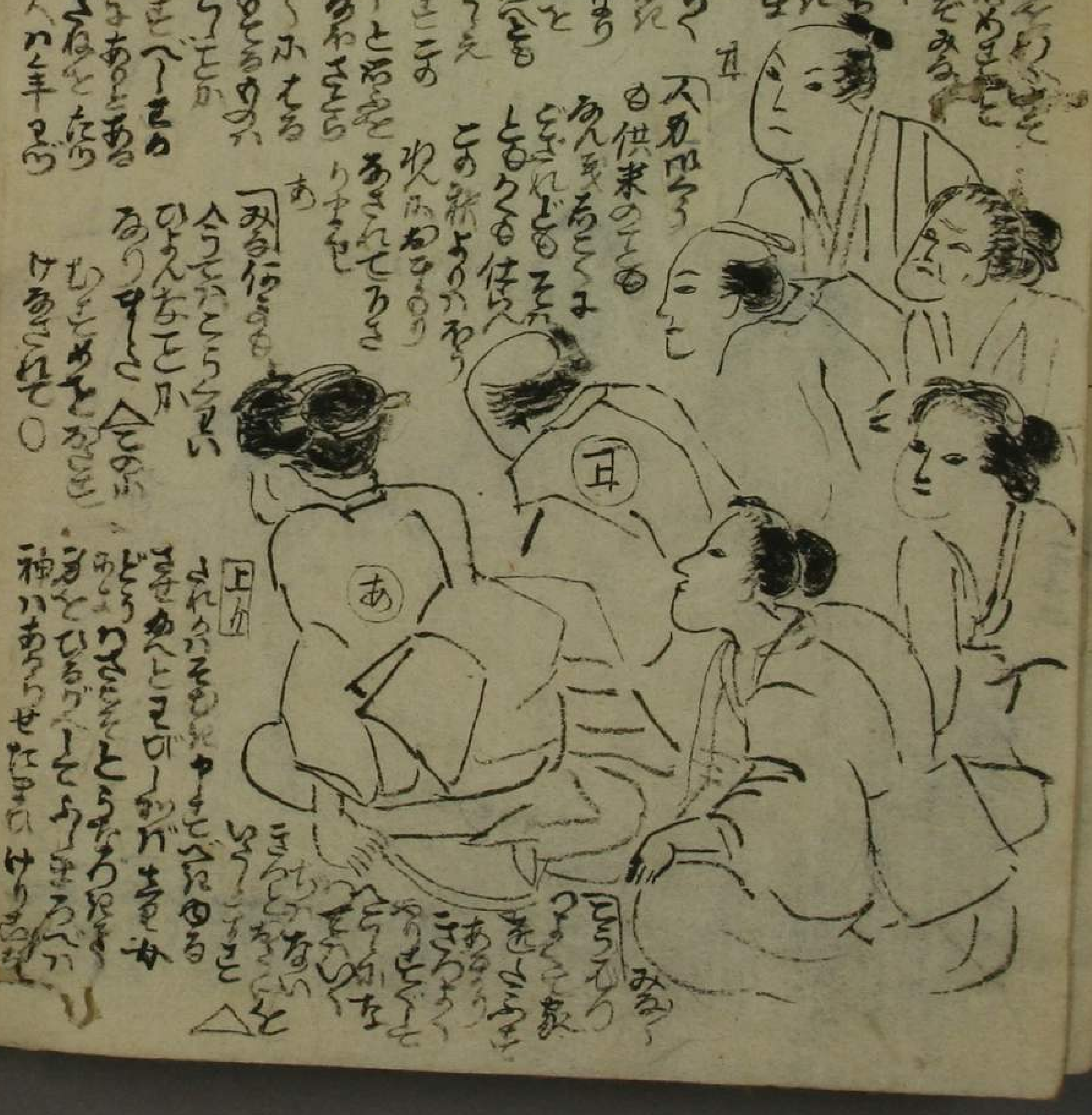
上より 今どうしあいゐ
ゐとるゐらねがむらあり
これよりとんさうして
のちにみのりそいのれども
積悪がぐちらせるれば
おのく そのゐとゐのみ
あらぬを
あらさゐんとさ
ろうくものあるを
あけれがいろふそ
さいわひあるへ紀
年もうくもを
やらゐる田あ
あひとられ
のけて
こちら
ふそ
ものの
やくか
わらぬ
もゐれ
るゐく
りしれ
上より
かの
よしよい

日さくかよゐは
そさゞめかの田ら
へさとうおろそ
三千日かぬよ
べしともなえて田へ
とゐつよしなく
くへりて自宗坊の
のむすめとゐのふん
じゐ成る所 かわらの紀れ
れおを家でんる山ぶし
いゐりまのたらのかあら
ざるとしやく たふ田の
もあんがかとみてひさ
びんとあつしり
ありせん
しとありし
所ど風ふそん
も病気しく
田の山のせふ
うさの地をそらの田を
そとあひ そさ
とありし家
へそらんぐし
井をから牛
ろうとちし六ちくされ
とめか 下へ



何ゝの
ひとり
むすめ
上下
七かま
なりける
か神の
さすりと名
しくて病か
かずらゐふと
只一日ふあら
されがその
ふさ病のゐ
け紀れさらん
これとゆ
もののいと
さかれてみる
その家から
ちうとして病者
同宿頭ゐそよとも
ゆむとめかよゐあへそ
あんぢら何ゐ病
むらとかくかゐ つぎへ

そのうちにおあま以下かの百々人々もそれぞれ[illegible]
みるとその上ところへよびつどへまつれのりあめまに[illegible]
こそあれとく／＼せよといそうちとあそびみる[illegible]
いよ／＼おどろきてよろこびていいうそく
かんおんふら[illegible]と村の男女[illegible]
もなく みなよびつどへよりけれがおそれ
いいへのうちにおまちゐそひろみかせは
しとおゝあ[illegible]そのとき[illegible]らぶんの
めのそらうて かんおんのりあめまし[illegible]
これとよれとるふらんとおでもきちれ
せそけんおやいろのすりの又まいるなり
てくの方いへ人におしてきおどろき神えの善と
おんぢらみなおろうかしてりそうそくあいとも
そとうけこかんのてこれぞ言いせんとはこの
うんかせおまおまわどこらをふおうトと[illegible]
もてあかくくさりとひとぞこよもあおさきら
さるかいろふぞや今よその此らとしくふそる
あのあたる宮の四方よ引上ふむきとめてあのい
よふらけよ松百俵をてなせ[illegible]よ又上へ[illegible]
のとうつくいけあふすあらせよ[illegible]
神にちよふそむ[illegible]村子あ[illegible]
めのてもちとみなうりとりてそ[illegible]そのん[illegible]
へ[illegible]いわ[illegible]くとせめてこうとそのん[illegible]



今よりしてみとせそのうさ[illegible]よとて[illegible]
おそあらけるこれより此のものむら人[illegible]
むそそのおそう八宮に[illegible]よりて山[illegible]
てあるふすあらせ又とてをまちらけよね
百俵をを山のみの[illegible]神のいろりき
むものとその[illegible]あ[illegible]おこをあら
よむるあのなけれどもこれらの[illegible]あの
ひくふおれ[illegible]これ[illegible]のあのふそうり
おとすひのことかしあれどむら人らふれ
まつ[illegible]ロハよそあらうそ[illegible]
あとのころそ神[illegible]のとさてものよの
のいけあるれむら[illegible]かん[illegible]もきそめ
宮に[illegible]あまそい[illegible]上
少しその[illegible]鐘目[illegible]の識[illegible]と
やらんよむるきまりやう[illegible]又奇
よのちうまい[illegible]てもあ[illegible]
けるれとられぬる[illegible]さとそと
き[illegible]ら[illegible]見[illegible]もと
もとめさすひし[illegible]
いかめむらさきめ[illegible]かん[illegible]の[illegible]
おうよみてこべるといふなうりうてうの
とうわるころある[illegible]かゞか[illegible]
そてよろあいの[illegible]そありあらそて



つぎへ

みちの男娘にまよひけり○かくて[illegible]
うちこぼさずへかべをしあけてうちのうちそとつくらふ
にどふさそられとみにありしかれびくふかんどえを
とり出しわれてとりし又ちやをきてもれ[illegible]
あるしもきよりふ入りてとりふ夜話やるぞ
およびける其のとみ又小まんがいふやうにと[illegible]
しくえべれとも[illegible]をるにか[illegible]
年ころなりしあけまで夜けのそとこのみ
たてふにあらはれねうふ[illegible]名[illegible]
如来[illegible]東[illegible]らい[illegible]
かしらをかねとあてう[illegible]西七ち[illegible]
あやしき大門とのく家[illegible]夜けい[illegible]
ひちとよいなしたる夜けい[illegible]のの
さらにひなれとも人らよし[illegible]世にあり
[illegible]そのひ[illegible]とそあかにざるを
[illegible]いさみ[illegible]せど
かう[illegible]あらされがせひろく
男のいとをとさまりて母と[illegible]
男とよ[illegible]とて
[illegible]おめとこ[illegible]そ
[illegible]ま[illegible]の[illegible]まるあふさん
うちふ[illegible]よりそりもく[illegible]あるしあく

「上」にりせるて[illegible]
さしれあり[illegible]
その友を[illegible]の
[illegible]なく
よひねをうき[illegible]て
[illegible]四五年かおよ[illegible]
とらふ男[illegible]
いさ[illegible]
あせ[illegible]あらわれ
これ[illegible]
かそへ[illegible]
[illegible]言にようこえ[illegible]
しとてそびとしく
[illegible]やうさて
[illegible]もそ[illegible]

ひとつ[illegible]世大[illegible]娘にま[illegible]
[illegible]
[illegible]

つひ子もなく[illegible]なりあとかのところ
その男
のこゝ[illegible]
うるふお
のびくか
[illegible]
ハてその男
[illegible]
あり[illegible]
めのとのいのと
なりける[illegible]
[illegible]子め[illegible]
[illegible]その男の
[illegible]
[illegible]
人の[illegible]
[illegible]
を[illegible]
なれとも[illegible]
[illegible]
男[illegible]
を[illegible]
あれ[illegible]
をの[illegible]せ[illegible]

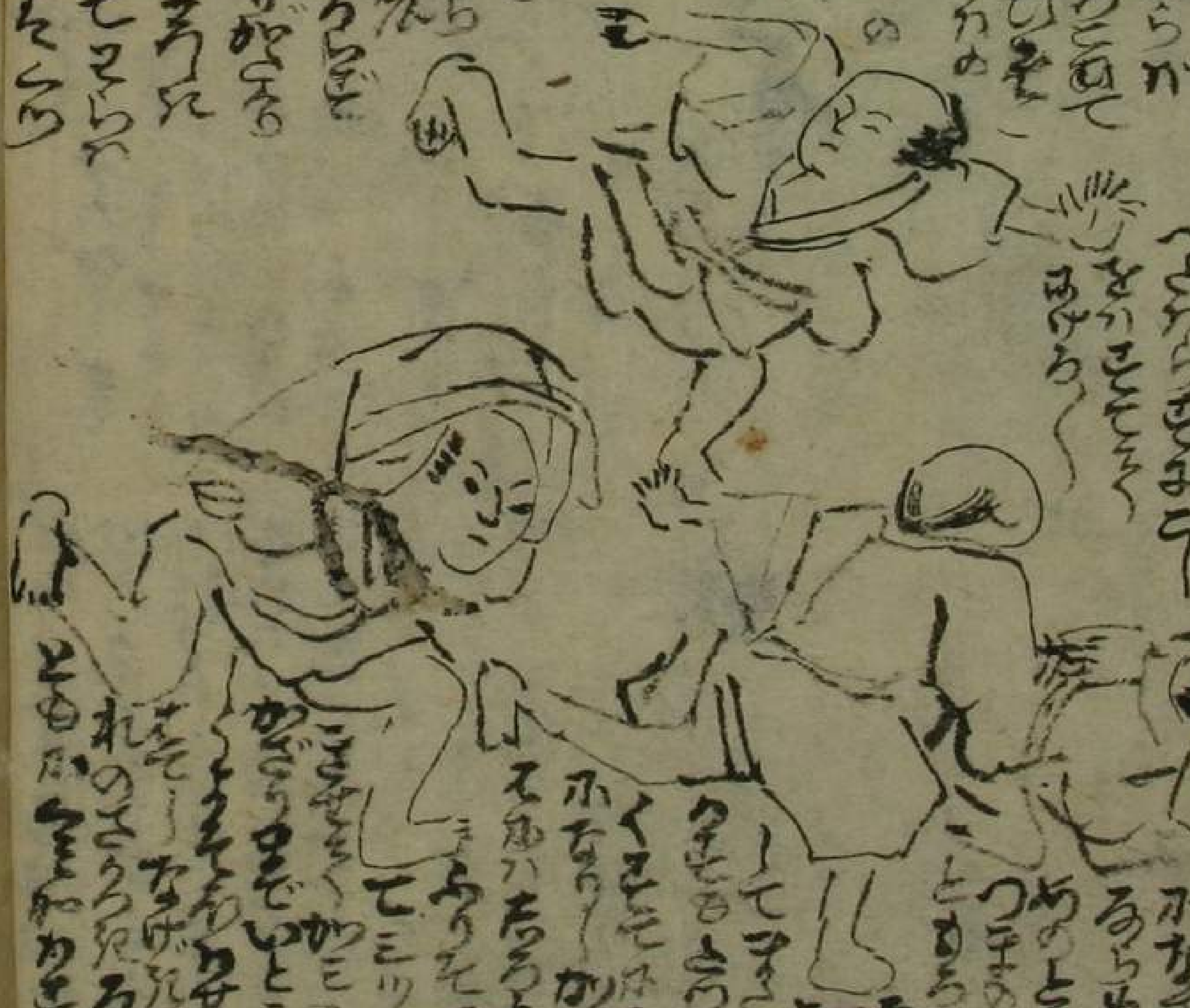
「下へ」

「五」
人のむ[illegible]のなく
なりしもん[illegible]
[illegible]
[illegible]男ま
いそう[illegible]うれい
[illegible]くて
[illegible]
[illegible]

「[illegible]六むさし[illegible]
[illegible]
られいふ[illegible]
[illegible]
ならぬ[illegible]

「そう日のくれる
[illegible]
[illegible]

田かりの人ハもらもことゝあくゝそのわ[illegible]
小せんハかんしよろこびてさて[illegible]たる孝義[illegible]
かさハいふ人のとりえてんりくの[illegible]
[illegible]のわれある列せれ[illegible]
もしさいはひにまてられ[illegible]とあらてさすからが
して今よりの[illegible]といふをかたうらねまろにて
そのうへねかふとこゝろとも[illegible]のわの[illegible]
あてゝ若[illegible]とものかいとへしと[illegible]
よどみなくとも[illegible]天地[illegible]
の[illegible]かしもとへてころ[illegible]とも[illegible]
しゆかそんなそげんお[illegible]とならん[illegible]
なり[illegible]出没[illegible]なるけん[illegible]
とそあらんぞ[illegible]とも[illegible]の[illegible]
人らがかさ[illegible]とさとさんと[illegible]仁心[illegible]
あるならハ人のむものを[illegible]とるて[illegible]
これハのりてこれを[illegible]善悪[illegible]邪正[illegible]
ふりまおとりてより[illegible]
[illegible]あらずてやとも[illegible]
もたりぞ[illegible]てんるといふ[illegible]あんりてそれく




ここの[illegible]その[illegible]
[illegible]のよりよそといふ[illegible]
つりまなれハこれしよくり[illegible]
かをりくのりてまわつてかの山の[illegible]
ちかけるちやしゆうち[illegible]
ひちらへ[illegible]かの[illegible]をとらしか
うちのせて[illegible]ぬるを
うちかよ[illegible]おひそらせて
てんくよ[illegible]のこしをう
ぞうて[illegible]
いろ[illegible]さいはひ[illegible]
その[illegible]とりひにて
こえ[illegible]へんけくさて
なりてけん[illegible]
あ[illegible]邪正[illegible]
とふしてたい[illegible]
[illegible]いろ[illegible]とよんぞ
れがみ[illegible]
[illegible]てそのそらてて[illegible]めて
よし夜[illegible]
[illegible]してそのせりと
こそ[illegible]
あり[illegible]
けめ[illegible]
[illegible]
下へ

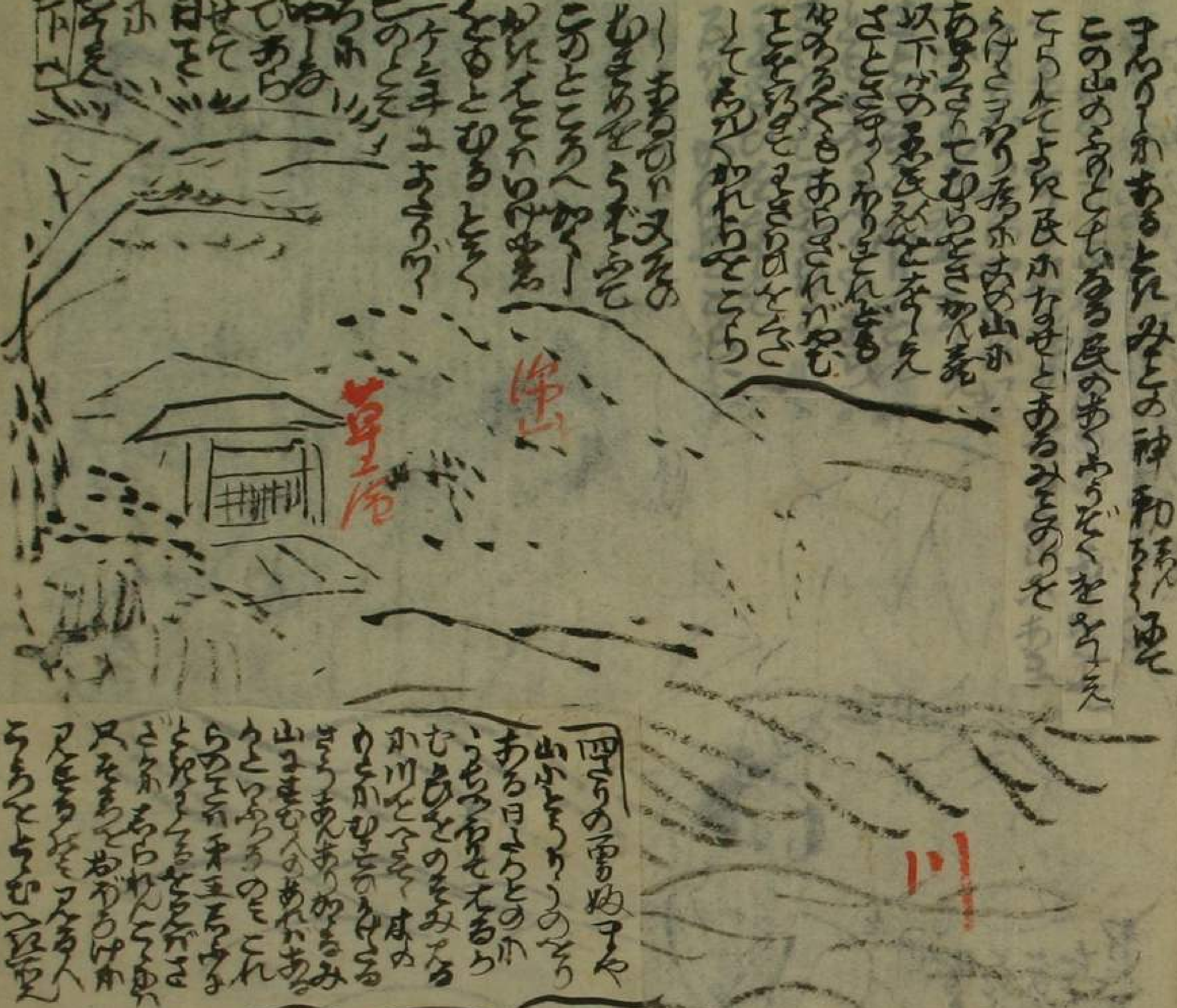
[illegible]の[illegible]
そて[illegible]たるところ[illegible]十人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
つぎへ

ここう月あれ中らりあちこちで花のあそびおどろどの文
ちう花のつほおち見つとおその㒵も そうろうよし
とある奴おるる小まんのそとあえとか井の
そうえにあまて君れりといわれて おどろくおそかゝ
らわうよびあのうちつと白宮中さいとび
かけなーされぐそ〔日〕りわあわのと
いわれぬるおん身か ことゝくにの人
ぞかともれていろつゝもち
ありあまそてその〔illegible〕
ところえ〔illegible〕てらかさ
かゝされーまのうへて
うらあかひめ〔illegible〕ぬさくの
むまのちかひのおい〔illegible〕かれたと
〔illegible〕のうちさてかと さてれども
あわうちひやとみてさりけり
みのとのおいかれ又い〔illegible〕
〔illegible〕て見られしさけありて
つとあありまあらーむ
こりみ中の〔illegible〕しるい
むとのかせられし〜と見
まう〔illegible〕ありのあくまの
ゆてきそてまこころさき
べらしそこら勅明王の
れいけんかそ あとそ
ねられてかゞもあく
てーかのそこやまと〔illegible〕のみことをみつくえ

一ト〔illegible〕上ゟ さとさ〔illegible〕
よおのおりえかしく
ろうまで至ら人の
むきこわとも太春
〔illegible〕貞節〔illegible〕の
え〔illegible〕をつくされて
是非せんと〔illegible〕
その〔illegible〕と けうり
さいたるものゝ口とむらの
蜀民〔illegible〕をさせそ 蜀民
みんなおかへ〔illegible〕せう
けしかき〔illegible〕ちら〔illegible〕
なきのことを〔illegible〕と見
ある〔illegible〕ねんあまらが〔illegible〕
〔illegible〕も〔illegible〕きらく
〔illegible〕法力〔illegible〕のき
されわでみるこれら蜀明の
〔illegible〕まるのあれ〔illegible〕
うるひそとこうのみ〔illegible〕を見
あくかが〔illegible〕さを〔illegible〕ら
さいんおくよりも〔illegible〕してく其内みな

むかし〜にあるときみことの神勅あらしゆへて
この山のふもとにも蜀民のあくちうぞくをそうえ
てらしめてよ蜀民になすとあるみことのりぞ
うけたまはり〔illegible〕にあの山に
あまそ〜てむらをきかん義
以下の蜀民ぶんを承て見
さとさすつくありまえんども
〔illegible〕あるべくもあらさされども
ことをあきてまさりのそぞさ
してあかくかれらてこら

し〜あるのか又そ
のまあをそうぶんそ
このところへ〔illegible〕
かれそこのけ〔illegible〕
をするとむるとて
一子〔illegible〕す〔illegible〕
このところ
〔illegible〕ゆへ
ひあら
せて
日を
〔illegible〕




四方の蜀ぬすや
山ふもとりつのそう
ある日〔illegible〕の〔illegible〕
むあそのそ〔illegible〕
かわをそう〔illegible〕
〔illegible〕

むかし人のむきあゆへて その師おゐーあぞー
えん〔illegible〕て せん非咒をくらむ〔illegible〕
なれ〔illegible〕ありそとーよりたまはりて〔illegible〕
おゐーそぞいさーめうたよ〔illegible〕
〔illegible〕わけんのふげんざんのれい〔illegible〕
うや〔illegible〕されてまころちてこのように
ひのさうら〔illegible〕ぞ〔illegible〕
あそこらうちの蜀奴のうらうひてる
〔illegible〕てくなきあみと〔illegible〕
かけれかひざを〔illegible〕
の蜀奴さくのよ〔illegible〕
〔illegible〕
ともあらー〔illegible〕
つらきことと〔illegible〕も〔illegible〕
てーなされが これよりのちの四蜀奴れ
あちらくさらくふとりうりて〔illegible〕
限えをつくーけりこれよりの〔illegible〕
かちもあかさく〔illegible〕あらされども〔illegible〕
らわ中に五百〔illegible〕〔illegible〕
さてあそのうちか〔illegible〕
ぬーおとりのあらうとあ〔illegible〕
ぞんる〔illegible〕へい次たけつらかうの〔illegible〕

このときみ〜ひやんのゆうえあり あらそ忠太郎 にかゝみんながれんさいゝつにこそかのぶへけれ 私をあゝわが歌のむかうあらおおどていまよま らいてちやといゝせもあへぞとさけぐさい為せん もろともにあざむきてちうごろ忠太郎まま つりごみ 竹でかみらとふてあゝの句ゑ ふ王??へいらんとをりあさくうかむ ろ所しすをせや夜かぼーて日本国中 をせかんせうやとうおれーやーうそせた こなりれ夜ヶ臣 むかのさあおそれ なれら いいさめすりまへ犯といゝせもそをとのり まれかららくとうあうらひて大の小下て わらかくよわれ ハつよれふせいせら為り うまみらのこせのをそるて中をおく忠太郎 とせあかふとまよれうみをこれやめる為 さとへ所ろうあ身と私とおらのエーて私を たろりておのれと為らざる私とおらヨかい さあをかくみてうちえさきそそわりさ とも いろかーてぶくせんやいとをとなりと さーかもれかさけつくさいおゆんいろのか よまんそこ そとぐゐをんざんなりののさるら たとへ為るいれおでもて こうさみ あてつけさるらくせ紀そたれ為ゆる

ちくろう
おいよい、いはた ぞろくいるな のゝさふるうれてるゝ
手? ある日のうち 兵かねいよんぞうを よこいつくいらさの ひつくまほ すいてげは なりおそのりさゝ 実 わちか大く せつそ あちらかまたて あらかいん ち? むらおれ あゝ太夫 みてのちかぞ たくいて その はへりのおちあるのよ 入りのあるあと かにへいさぎ 三なさいあへらんぞをあそ あゝくかそうら らでほゞきろて あかーちあのうさ びてろへらあれ あてらんとはれわか

うくどをせまよといひ申候　されば左やうにとくとくとかゝるを
めいよりおやくめんとにそろそのりさまをとさせて
あら御家のためにふたりのこゝろざし　ともにおびをとかせて
ふかうちあせく　うちうちにていろいろこゝろやさしきを
おのくおのあ義をそのけんせよ是ハこれ御家法
の御先祖より世にいまにまそかれ叶
わんぞさまみなあそびされ左右信玄の二
字にもあらはしこれ今これぞあてうちうちにも
ともになやさとも白とう是公のとせらんにとなるを
あふのりさまりてござあらんやおの〱この義を不叔
多ふみえてよりや右信のいぬとなるとも
らんりの人とかゝる事となく方りさま白赤いふあらむ
ありあなもさまあるまべからずとあく
こそであいらーあとちらーてかぞそさい
大かたまてありける
○かくてあへのちのちぎつれその日あるく
あるよ右ありぞ兆かへつていんのご桃太蔵
三方のせあかちかゝよびのどでけふみさち
出であり事こそ加ふくとさて兆名つて
まれやく　も第紀をらんの君かせかよりく
とうけのあかりてありながらこきみのおんあや
まりを免りつゝ　似られあうをまかりよーなけれか

上方　てく瓦ハ人にたらしわ
左寺はちら三郎のまうり
なれども家ふそむ
よりのつものゝ人命あやぶ
わりけるをこれあわれんぞ
こうらーあつかりきやめんの
便宜がなさまちけるかまう
早雪赤まさ
ひせつりてちゃうれ
ふらるるにきべ
いけれでかんち
なともかこころ
とも又ふのひぜ
只今ひとつかえ
あちら兆あーのか
巫と又みそくて
で瓦ふ田をつある
あうーく下野されれ
とらかれふ花のひて
そのきとかゝへおゝりそて
けよされがよくて瓦
かせそう村かくりかれ
人ふたらむこあのふりあん

ねいあのまらをうちうちーて詞被ふくの義を
つくそといへともりようあくくちみあらけれが
てうさみかあちざいうらせ兎めて
わとあくらーくむけらる
べーあらくらんふかなせひ
ふおまりぞ只いふさ
きさく
うちだ
ふせぬを
あんおちと
のちへちを許て
そそくつまを
やりのたんへつかーて右あがせま
その際のまくかかりくと
とれ右やりて右りを
りせそのちひと
やりり
此
田の中年と
おふつう四五
六かいつけても
あうのつと人三
でふちく菩様とせひか
よりいさせさくのりさまさ
めんーてさていふやり
下へ

上兆郎の金子あらの井のぞらかまたが
とと清かさま右の祭うか
たち井へつかーてまうち
ぶあをつげ二度せよふ
かーとかとてまる上る
さうきてんそうする人
なおむくとあ　そとぞく瓦
のほ
なるべーめら
ほおよわよまと
けてとをあや
これへならぬ
といとね
んところ子
上郎た
やそ
車と酒
五六両かゐる
よーかうをこう
そとうせ

又て義兵へこもる 高力 うち こもるへもこりとそ〔illegible〕
三十あまりあまた〜〜 みかたちく兵いちみをもとこそ〔illegible〕
ワ〜ちかうせんのよろこびせのぶる 有 てのりそ〔illegible〕
さこそこと〔illegible〕 ちむへ 後 飛 治 〔illegible〕
附ちく兵の あね やそかぐ父の〔illegible〕
とて やみ〔illegible〕 ヲられて せんどらとゝると
ことみあらそ〔illegible〕 とらりとてこれこれ
三〔illegible〕 かおかけて〔illegible〕
三十あまり〔illegible〕 とらせし
とまれ〔illegible〕 とる
あらてや〔illegible〕 入ら 又 その
智〔illegible〕 たる〔illegible〕
君の為〔illegible〕 とて その 義 〔illegible〕
あら〔illegible〕 三人 首や あらん
とく 見ん ねと
いそう たちて そろ〔illegible〕 ほ〔illegible〕の
〔illegible〕 入りよう 兵 て義兵〔illegible〕
みそと やりかちとふかがみ の 軍
四五六 もろとも ふ人 あ〔illegible〕
よひよろ〔illegible〕 とらへ 〔illegible〕 その 〔illegible〕 れ
れちぞ あら 并 を
さりて いそれ
ける
○その 此 の 日の あけ〔illegible〕
のりまつ〔illegible〕

〔illegible〕 のれて 埜の〔illegible〕 をも
忠もらら 五 百 これて〔illegible〕

平
〔illegible〕せんの らも かた 九天の
とらや きごふ くと
あひ あら さり

〔illegible〕 一千余人を
あさくてのりさるの
やり〔illegible〕 ある 智 てのん
そ〜よせ 〔illegible〕 とれどとやと あけ
く〔illegible〕 これみ〔illegible〕 のりさね
〔illegible〕 これみの三〔illegible〕 を そうわ
みて 〔illegible〕 〔illegible〕 の 二十 八人 〔illegible〕
あら てら 〔illegible〕
よろこひ かみるら〔illegible〕
あと〔illegible〕 義〔illegible〕 をとえていさ
むし 必死 の上首 〔illegible〕
とつて〔illegible〕 いそ 君 〔illegible〕
ひらた あぐ〔illegible〕
小 本 〔illegible〕 の〔illegible〕 敵人 おそ
され〔illegible〕 とおもひ〔illegible〕
さし〔illegible〕 〔illegible〕 るさ
みて 〔illegible〕 せを 〔illegible〕 ね
とん〔illegible〕 〔illegible〕
とり〔illegible〕 〔illegible〕
義士 〔illegible〕 〔illegible〕 して
あ〔illegible〕 〔illegible〕
とよりて
のりさんそ〔illegible〕 〔illegible〕
〔illegible〕 下 知 〔illegible〕
〔illegible〕
下へ

みさの 〔illegible〕 二十八人 みなまもと 〔illegible〕
〔illegible〕 のりまさも
〔illegible〕 これ 〔illegible〕
そくすく 〔illegible〕 とらへて 〔illegible〕
たてそこて けやのら 〔illegible〕
〔illegible〕 とるか 〔illegible〕
けせて 〔illegible〕
〔illegible〕
とみ 〔illegible〕 たけつく
さいそ〔illegible〕
人 の 二三人のりさねを
〔illegible〕 とて 〔illegible〕
〔illegible〕
さる 〔illegible〕 の 兄
つけて 〔illegible〕
〔illegible〕
〔illegible〕
〔illegible〕
△

△
さけびの 声 と た〔illegible〕 れけり
その 〔illegible〕 のりて 〔illegible〕 去
〔illegible〕 〔illegible〕 ありけりん
うへろよりて 〔illegible〕
のりざね 〔illegible〕
〔illegible〕
〔illegible〕 つらぬられて 〔illegible〕

上方
〔illegible〕
よせあふて み〔illegible〕
〔illegible〕 とせ〔illegible〕
白 〔illegible〕
これみ 〔illegible〕 下 〔illegible〕
〔illegible〕 二十八人 み 一 寸
〔illegible〕 入り 〔illegible〕
れ〔illegible〕
のり 〔illegible〕
〔illegible〕
や 〔illegible〕
さ〔illegible〕
けれ 〔illegible〕 せん 〔illegible〕
十 〔illegible〕 人 いられて 〔illegible〕
〔illegible〕 けり なれとも
大せいあるとも て 入り
〔illegible〕 せ 〔illegible〕 れ

西
〔illegible〕
〔illegible〕
どもいけとれ
かゝれ
く

家伝神女湯
精製奇應丸
熊胆黒丸子
婦人つぎ虫の妙薬
製薬本家 四谷隠士 瀧澤氏
代筆 路霜
浄書 谷金川
馬琴作
豊國画

泰永元戊申年

夏五月十五日穆昇

著兆豐呂授稿

筆

謝硯壽

大吉利

一部